

子どもの本棚

子どもたちに勧めたい本をご紹介します。
本選びの参考になさってください。

『ワニのライルがやってきた ワニのライルのおはなし1』

作・絵：バーナード・ウェーバー 訳：小杉 佐恵子

プリムさん一家は、東88番通りの家に引っ越してきました。すると、シュッ、シュッ、パシャン、パシャンと家の中から奇妙な音が聞こえてきます。音のする方へ進んで行くと、お風呂場へ出ました。そのお風呂場を見てビックリ！だって大きな緑色のワニがいたんです！おまけに風変わりな男まで玄関に現れて1通の手紙を息子のジョシュア君に渡しました。その手紙によると、ワニの名前はライルで、「私の クロコダイル・ワニをよろしく頼みます。…舞台と映画のスター ヘクター バレソティ」とのことです。初めは恐がっていたプリムさんたちも、ボールを鼻に乗せたり、色々な芸をして見せるライルに大喜び。まして、人を傷つけることもしない優しいワニでした。プリムさん一家はすぐに仲良しになりました。ライルはお手伝いも大好きです。毎朝、牛乳を取りに行ったり、テーブルも素敵に飾ってくれます。ライルはすっかり家族の一員になりました。パレードでも、逆立ちで歩いたり、ビューンと飛んだり、鮮やかなバトンさばきで、たちまち町中の人気者にもなりました。ライルは、優しい人たちに囲まれて、とても幸せでした。プリムさん一家は、ライルがますます大好きになって一緒に暮らしていました。ところが、ある日、あの風変わりな男は、ライルが有名になったことを知って戻って来ました。そして、ライルを連れて行ってしまうのです。悲しみに暮れるプリムさんたち。一方ライル

も、プリムさん一家のことが忘れられません。笑うことも出来なくなるくらいライルは元気がなく、それどころか、舞台に立ってもお客さんを泣かせてしまうばかりです。それでまたライルは、プリムさんの家に戻ることにしました。プリムさん一家は大喜びです。

ワニのライルがとてもかわいくて愛らしく、またライルを愛するプリムさん一家の思いが伝わってくる心温まるストーリーです。読んでいるとワクワク楽しくなり、読み終わると幸せな気持ちになれる絵本です。ワニのライルを主人公にした楽しい絵本のシリーズは全8巻あり、長年に渡って、アメリカ、イギリスをはじめ、世界中の子どもたちに親しまれています。「ワニのライルのおはなし1 ワニのライルがやってきた」は、1962年、ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン紙の春季児童図書祭の優秀作品に選ばれています。作者バーナード・ウェーバーは1924年アメリカ、フィラデルフィア生まれ。グラフィックデザイナーとして活躍する一方、絵本作家としても高い評価を受けています。



対象年齢 小学校低学年以上

Peek a Boo

～ あかちゃんとおかあさんの絵本の時間 ～

9月18日(火) 10:30～11:00

☆毎月第3火曜日☆

乳幼児と保護者を対象に、1F 絵本コーナーで手遊びや読みきかせをしています。どなたでもお気軽にお越しください。

くつしたのあな

～おはなし会を開いています～

9月15日(土) 14:30～15:00

5、6歳から小学生の皆さんのためのおはなし会です。ストーリーテリングや絵本の読みきかせをしています。是非、遊びにきてください。

開館時間	本 館	9:30～18:00
	枝川分室	
休 館 日	本 館	毎週月曜日・祝日 館内整理日(28日金曜日)
	枝川分室	月・水・金・日・祝日
電話番号	本 館	☎ 850-4360
	枝川分室	☎ 850-4350

9月の展示

- ・“たび” に出かけよう
- ・ギャラリーお江戸でござる

<http://inolib.town.ino.kochi.jp>